

「建活」 2017

■ 浜脇まちなみ調査

浜脇地区の過去の街並みや歴史・風俗を調査して現在と比較し、それらを未来につなげていくための報告書の作成しました

公益社団法人 大分県建築士会 助成事業

■ 折り紙建築講座

『地域貢献』、『建築の魅力を伝えること』、『人材育成を図ること』を目的に子供たちを中心に、会員が手伝いながら「作り上げる楽しみ」を教えました

公益社団法人 大分県建築士会 助成事業

■ 「歴史的建造物」写真パネル展

郷土の現存する「歴史的建物」の写真を各所で展示し、広く市民に周知して郷土の建物に関して興味と誇りを持たせるため、全国大会「おおいた大会」をはじめ各地の公共的建物にて展示をおこないました

公益社団法人 大分県建築士会 助成事業

■ 楠銀天街現状調査

アーケード及び建築物の現状の危険性を把握し、今後の対応の基礎的な資料を作成することを目的に、別府商工会議所から大分県建築士会別府支部が依頼を受けて調査を実施して報告書を作成提出しました

民間団体 委託事業

建築士会別府支部 レクリエーション事業

- 「忘年会」 ○別府駅前「北浜カーサ」にて H28/12/22
- 「研修旅行」 ○熊本・大分地震 復興の旅 H29/2/18
- 「パークゴルフ大会」 ○別府市「実相寺パークゴルフ場」にて H29/3/19

浜脇まちなみ調査

H28/11~H29/3



3. 今後のまちづくりへの提案

1) 歴史的な建築物の活用

浜脇には多くの歴史的な建築物が残っている。国の登録文化財に指定されている糸永家住宅をはじめ、平尾邸などのほか、旅館や貸席の跡も数は減り、損傷が見受けられるものもあるが、浜脇の歴史を物語る建築が今も残っている。しかしながら空き家となっているものが増えており、早急な対応が必要である。

浜脇は南側の別府の入口に位置し、JRの東別府駅もあるなど交通の便が非常に良い地域である。その立地を活かし、歴史的建築物をリノベーションし、飲食店や店舗などとして活用していくことが期待できる。特に遊郭跡の建築物については、廊下があり個室が並ぶような間取りであったことから、個室の料亭などに活用できると考えられる。

もちろん店舗としてだけでなく、住宅として活用されていくことも可能である。別府市の木広町にある清島アパートのように若手のアーティストの活動のために空き家を活用することなど様々な手法により歴史的な建築物を活用していくことが望まれる。

また、リノベーションによる空き家の活用を円滑に図っていくためには、行政や関係者などとシステムの構築を図っていく必要がある。その際は、建築の専門家として建築士が積極的にかかわっていくことが必要と考えている。

2) 浜脇の歴史の語り継ぎ

歴史を伝える建築物の保存が一つでも多く残っていくように、浜脇の歴史を語り継いでいくことが必要である。

浜脇では毎週地元有志のボランティアガイドによる「浜脇温泉セピア色散歩」が開催されている。このような歴史を語り継ぐ活動の継続が望まれる。

我々建築士会としても、専門的な知識を活かして、歴史を語り継いでいく調査などを今後も行っていくことが必要と考えている。

折り紙建築講座 H28/11/30

終日の大賑わい



写真パネル展も同時開催



お兄さん、お姉さんに教えてもらって…



絵の上手なおじさんは、子供たちに大モテ



受付は大混雑!



『歴史的建造物』写真パネル展 H28/4～



全国大会にて展示された「郷土に現存する歴史的建築物写真パネル」

その数は128枚・・・全国大会参加者の見学者数は200名余り



パネルは「別府」「杵築」「日出」の各所で展示
その設置・撤収活動は会員有志によって行われます

参加者募集！ "共に楽しく活動しませんか？"

大分県建築士会別府支部では、事業やレクリエーションへの会員の参加を呼び掛けています。
ぜひご参加ください。

事業担当副支部長: 幸 孝文 e-mail t-yuki@k-yuki.co.jp